

北九州市
市議会議員

井上じゅんこの

市政報告

北九州市を
変革中!!

今年の1月31日市議会議員選挙で初当選した井上純子です。

多くの八幡西区民の信託を得て、2月10日に就任いたしました。

新人ではありますが、行政職員の経験と発信力を活かし、

「今まで見えなかった」市政の課題を顕在化し、市民皆さまに届けてまいります。

ぜひ任期4年間を見届けてください。

会派は「変革と成長」を新設!

既存の会派は国政の影響が強いと感じたため、ひとり会派でスタートいたしました。

常任委員会については「総務財政委員」に所属!

市全体のマネジメントから行財政改革、広報まで幅広く調査していきます。

profile

1986年 誕生/北九州市育ち
 2005年 福岡県立八幡高校理数科卒(57期)
 2005年～ 北九州市職員(15年半勤務)
 2008年～ 3児の母
 2016年～ 「パナナ姫ルナ」(コスプレ)として市をPR。
 全国メディアから注目。市のイメージアップに貢献。
 2021年 北九州市議選初当選(無所属/八幡西区トップ)

新しい働き方の市議会議員へ!

政務活動費の
大幅な見直し

北九州市議会初!レンタルオフィスへ入居。事務所省スペース化により家賃・人件費を削減。

看板を出さない事務所
まちの景観が向上

小倉駅前レンタルオフィスの事務所には、看板を設置していません。

市民相談は
丁寧に対応

専用ダイヤルを設置し、オフィスでの事前予約制としました。定期相談も実施予定です。

市政報告は
日々WEB発信

市民全員が主役。市政報告はツイッターでWEB発信の他にも、市内全域で実施。広く市政を届けます。



井上じゅんこ公式サイト

<https://junkoinoue.jp>
「井上じゅんこ」でWEB検索!

井上じゅんこ公式LINE

「井上じゅんこの北九州市に変革と成長!」
日々の活動を配信中

井上じゅんこ公式Twitter

市民の皆様は今必要な最新情報を毎日お届けしております!

※2021年5月1日付の情報です。

新型コロナウイルスワクチン接種について

■接種対象者(優先度)

- ①医療従事者(注) ▶ 福岡県=医療機関で進行
- ②高齢者(令和3年度中に65歳以上に達する方) ▶ 市が直接案内します
- ③その他の方(基礎疾患のある方、施設従事者等を優先) ▶ 市が直接案内します

■進め方

- ①接種券が届く(75歳以上へ)
※65～74歳はワクチン供給が増えたあとに開始
- ②接種の予約
4月30日(金)午前9時から
●電話予約(右に記載)
●インターネット予約(右のQRコードから)
- ③接種会場で集団接種(八幡西区は会場3か所)
●折尾スポーツセンター(八幡西区大浦3丁目9-1)
●穴生ドーム(八幡西区鉄竜1丁目5-2)
●香月スポーツセンター(八幡西区香月中央1丁目9-1)



ご心配をおかけしています。
 現在、国からのワクチン供給量やスケジュールの都合から
 進行が滞っております。
 高齢者はまずは75歳以上からスタートしています。

接種のご予約はこちら - 4月30日(金)受付開始 -

TEL 0570-055-676 (9時～17時)

北九州市HPから
予約専用サイトへ ▶

※ワクチンの医学的な知見については…TEL 0570-072-972 (24時間)

その他、コロナに関する問合せはこちら

◎新型コロナに関する相談や問い合わせ全般
TEL 0570-093-567◎事業者向けの支援や相談については…
TEL 093-642-2861 (黒崎)

令和3年度当初予算について

■テーマ

「～SDGs未来都市への挑戦～ コロナに打ち勝ち、未来へつなぐグリーン成長推進予算」

■3つの柱(主な事業)

1 新型コロナウイルスの感染拡大防止と市民生活への支援

- PCR検査・医療体制維持に加え・・・
- ワクチン接種の体制確保(62億7,000万円)
- 中小企業融資の拡充(1,100億円)
- 介護事業者・障害福祉施設の感染症対策強化事業(3,200万円) 他

2 まちのにぎわいや未来への飛躍に向けた成長戦略の実行

- IT企業誘致促進関連事業(1億7,000万円)
- 黒崎地区振興事業(にぎわい創出1,100万円、リノベーション促進1,200万円)
- ゼロカーボンシティ(洋上風力発電の整備・再生可能エネルギー推進など/16億円)
- 自治体DXの推進(1億円) 他

3 子育て・教育など誰もが安心して住み続けられるまちづくり

- 子ども医療費助成の拡大(31億8,000万円)
- 小中学校35人以下学級編制の完全導入(8,100万円※2月補正)
- 不登校対策の推進(2億6,600万円)、空き家対策(1億4,000万円)
- おでかけ交通支援(バス運行路線維持など/1億2,000万円) 他



■予算額 6,421億円

※過去最大規模(前年度比+718億円、+12.6%)

※新型コロナウイルスに対する本市の支援策予算 194億円
(2月補正予算と合算)

子ども医療費支給制度が拡大

※医療機関あたりの自己負担額

		通院	入院
未就学児	3歳未満	無料	無料
	3歳以上	月600円まで	無料
小学生		月1,200円まで	無料
中学生		助成なし→ 月1,600円まで ※令和3年4月～	無料
高校生		助成なし→ 月1,600円まで ※令和4年1月～	助成なし→ 無料 ※令和4年1月～

小学生まで→高校生までに拡大! 自己負担額が軽減されます。

初登場

令和3年2月議会/市長質疑

- 予算議会にて、一般質疑をいたしました!
- A 子育て中女性の正規雇用政策について
- B 飲食事業者の事業転換支援について
- C 市ホームページの見直しについて

A 子育て中女性の正規雇用政策について

(井上)総務省の「労働力調査」によると、女性の非正規雇用率は男性の2倍以上の5割を超える。依然として多くの女性が低所得かつ不安定な雇用形態である。NHKのアンケート調査によると、特に非正規雇用率の高い女性に「しわ寄せが及んでいる。女性の非正規雇用の多くの原因が出産・子育て時の離職にある。そこで、出産や育児の負担がある女性の雇用問題を根本から変えるには、安定した雇用環境である正規雇用への支援が急務と考える。本市では第4次男女共同参画基本計画に基づき様々な取組を行っているが、特に不利な条件になりやすい未就学児を抱える女性が、安定した雇用環境である正規雇用促進を支援すべきではないか。見解を伺う。



(市長)要望のインセンティブの生誕賃金の格差は改善できていない。事業者向けへのインセンティブのある雇用制度を新設してはどうか。

(井上) ※予算特別委員会にて追加質疑
就労相談やマッチングだけでは出産後の女性の生誕賃金の格差は改善できていない。事業者向けへのインセンティブのある雇用制度を新設してはどうか。

(総務局長) 出産後の女性は子育てを両立する就労環境が整っていないことや、性別の役割分担が影響し、再就職に非正規雇用を選ばざるを得ない状況である。国が改善策として正規雇用促進策を用意。市としては、企業向けに女性の正規雇用を推進する企業の表彰やイクボス同盟(167社加盟)を実施。女性の意識改革としては、親子ふれあいルームで就業出張セミナーの実施や、来年度は小中高大学生を対象に男女共同参画の次世代育成啓発プログラムとして出前講演の拡大、女子高校生を対象にした理工系の地元企業へのインターンシップ事業等を実施。女性のニーズに寄り添った支援を継続していく。

B 飲食事業者の事業転換支援について

(井上)新型コロナウイルスの影響により、テレワークを導入する企業やワーケーションを活用する人が増え、「新しい働き方が広まっており、アフターコロナにおける行動変容に対応した産業の成長が重要である。コロナ禍の中、飲食業のカフェ業界において「コメダ珈琲」は前年に比べ売上が増え、プラスになったとのこと。この理由は、席の間隔が広く、WiFiやモバイル端末等の充電用電源が利用でき、現在顧客が「密」を避けるためのニーズやテレワークのニーズにマッチしたからだと言われている。現在市内でも、そのような設備のある店舗は多くの客でにぎわっているが、備わっていない飲食店はまだまだ多くある。

(市長)市内3か所に設置している相談窓口において丁寧に対応、専門家の派遣(1回無料)や紹介、事業者の申請が完了するまで、しっかりサポートしていく。

(井上) ※予算特別委員会にて追加質疑
国や県の補助金活用のため、事業転換への適切なアドバイスや書類作成はもちろん、電子申請までワンストップでサポートするなど、機材や専門家を新たに設置して、手厚いサポートをすべきではないか。

(産業経済局長) 事業者向けへの経済支援は事業持続のための持続化給付金やクラウドファンディング、感染対策支援など様々な支援を行ってきた。そんな中で国が新たに事業転換を目的とした支援「中小事業再構築補助金」が始まる。市としては周知、申請までのサポートを支援する。

C 市ホームページの見直しについて

(井上)コロナ禍や災害リスクが高まる現在においては、市民向けへの市政情報の発信の重要性が高まっている。市ホームページの実際のアクセス数はコロナ前後で4倍近く増加。しかし、現在の市ホームページについて、多くの市民から「見づらい」「知りたい情報がたどり着かない」と声がある。現在のホームページを開くと、コロナの支援制度だけでも多岐にわたる、何が継続されている制度で、何が新しく始まった制度か等の時系列も分からない。市民といつても多様な立場から必要な情報が異なるため、市ホームページは情報をただ掲載するデータベースの機能だけでなく、多くの人が、わかりやすく利用しやすいサイトであるべき。そこで、本市ホームページのトップページの項目を整理し、知りたい情報にたどり着くこと、そして市が届けたいターゲットに届きやすいよう、カテゴリーごとのロゴやサムネイルを掲載し情報を分別するための視覚化や、カテゴリーごとに新着コーナーを設置するなどトップページの全面的なレイアウトの見直しを行うべきではないか。



(市長)現在のアクセス件数は約1億2千万件3.3倍となった。多くの市民が「見づらい」という声は聞いている。改善が急務と考え、大幅な見直しを考えている。具体的には検索ワードを見やすい位置に配置やトピックスを見やすくサムネイルやピクトグラムを用いた視覚化を図る。そのためにも全て大切な市政情報の中で優先度を付けることも市長としてカバールなと思う。利用する市民の目線に立った情報発信に努める。

(井上)市のホームページは市長と同じく市の顔である。ぜひ改善してほしい。また、現状の広報機能が分散する体制では戦略的広報も外部広報員のクリエイティブディレクターも機能しづらい。広報機能体制は行政サイドがすべきこと。隣の福岡市のように市長直轄で広報機能を集約するなど、ぜひ検討してほしい。

【市政相談・お問合せはこちら】

TEL 090-2859-1877 FAX 093-330-4233

Email: info@junkoinoue.jp

井上じゅんこ
駅前オフィス

〒802-0003
北九州市小倉北区米町1-1-1
小倉駅前ひびきビル6階